

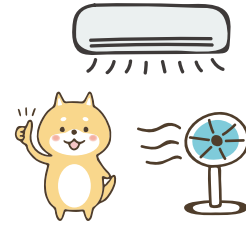


ペットの熱中症対策

7つのポイント

1 家にいるとき

湿度、温度が高いと室内でも熱中症になることがあります。窓にはカーテンやすだれをかけ、エアコンだけでなく、扇風機で風を回し涼しくする。



2 外に出るとき

特に、短頭種の散歩は要注意です。散歩は朝夕の涼しいときに。アスファルトの路面は温度が高いので避ける。肉球のやけどにも注意。涼しい素材の帽子や服をさせる。水分や電解質液を飲ませる。休憩を取る。

3 車の中にいるとき

車の中はすぐに高温になりやすいものです。暑い日では、クーラーなしの車内ではすぐに52℃位にまで急上昇し、クーラーが入っていても40℃以上の高温になると言われています。わずかな時間だからと油断しないように。



4 若いペット、お年寄りのペット

対応力が弱いので無理をさせない。

5 熱中症になりやすい時間と気温

昼間はもちろん、朝、夜でも室温は25℃以下に。ジメジメする感じの時は除湿を。エアコン、扇風機を上手に使う。



6 天気予報を調べる

気象庁の『高温注意情報』が出た時は要注意です。

熱中症になった時

体全体が熱くなり、息がハッハッハッやハーハーハーと荒くなります。耳たぶの温かさはふだん体温よりも少し低いものですが、この時は熱く感じます。涼しい場所に置いて、首、両脇の下、両もものつけ根を冷たい物で冷やす。水に濡らしたバスタオルを体全体にかける、うちわや扇風機で涼しくする。少しずつ水などを飲ませる。立てない、名前を呼んでも答えられず、意識がもうろうとしている、吐くなどの時は、すぐに動物病院へ連れていきましょう。

